

県立広島大学宮島学センター連続公開講座

第2回

観音信仰の霊場としての厳島神社内宮

現代GP連続公開講座「厳島の歴史と文化」13回を受け継ぎ、県立広島大学宮島学センター連続公開講座を実施します。今後、年3～4回開催する予定です。

- 日 時：平成21年12月2日（水） 14：00～15：30（受付開始13：30）
- 会 場：国民宿舎みやじま杜の宿
（廿日市市宮島町大元公園，TEL0829-44-0430）
- 講 師：県立広島大学人間文化学部教授 松井 輝昭
- 内 容：厳島神社の内宮がいつ観音信仰の霊場となり、各地から巡礼者を集めるようになったのか私見をお話しします。また、厳島神社内宮が観音信仰の霊場であることと、その社殿が海上に設けられたことに関わりにも触れることにします。
- 受講料：無料
- 募集人数：130人程度
- 申込方法：往復はがきの往信面に①名前、②ふりがな、③郵便番号、④住所、⑤連絡先（電話、ファックス等）を、返信面の表に受講される方の名前と住所をご記入の上、下の宛先に郵送してください。
- 申込締切：平成21年11月18日（水）
- 申込・問合せ：〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1-71
県立広島大学宮島学センター「宮島学センター連続公開講座②」係
TEL082-251-9550（直通）
- 主 催：県立広島大学 宮島学センター/廿日市市教育委員会/廿日市市生涯学習推進本部

《今後の予定》（テーマは仮のもので、今後変更することがあります）

回	日 程	テ ー マ	講 師
3	2月3日(水)	厳島神社の内侍	大知徳子